

2019年度女性アーカイブセンター企画展示

「女性と医学展 ～チャレンジした女性たちからチャレンジする女性たちへ～」展示物リスト

2019年11月12日(火)～2020年4月10日(金) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため4/11より臨時休室

休室日:会館休館日、年末年始(12/28～1/5)

開室時間:9時～19時

会場:独立行政法人国立女性教育会館本館1階

女性アーカイブセンター展示室

女性アーカイブセンター所蔵資料の全目録情報と
デジタル画像(一部)をインターネットで公開中です。

国立女性教育会館 女性デジタルアーカイブシステム

https://w-archive.nwec.jp/il/meta_pub/G0000337warchive

女性教育情報センター所蔵・・・☆



資料名	著者	出版者	出版年/ 作成年	所蔵	内容
①楠本イネ					
本を持つ楠本イネ(複製)				大洲市立博物館	本を読むイネの写真。
イネの家族写真(複製)				大洲市立博物館	高子(イネの娘)、イネ、三瀬周三(高子の夫)の写真。
宮内省御用掛任命書(複製)		宮内省	1873	シーボルト記念館	1873(明治6)年、福澤諭吉らの推薦により、宮内省から明治天皇の側室葉室光子の妊娠御用掛を拝命したときの任命書。
産婆免許鑑札願(複製)			1884	シーボルト記念館	1884(明治17)年、産婆営業に免許が義務化されたため、長崎県令(県知事)に提出したもの。
②荻野吟子					
荻野吟子			1885	東京女子医科大学史料室・吉岡彌生記念室	医術開業試験に合格した34歳の頃の写真。熊谷の小暮写真館にて撮影され、鹿鳴館スタイルの青いドレスを着用している。
東京女子師範学校第2回卒業生名簿(複製)			1879	お茶の水女子大学歴史資料館	吟子は24歳で第一期生として入学し、1879(明治12)年に首席で卒業。
東京女子師範学校第2回卒業記念写真(複製)			1879	お茶の水女子大学歴史資料館	吟子と卒業生たちの写真。
聖書(表紙、p.32-33)(複製)				せたな町生涯学習センター	吟子の遺品。

志方之善				せたな町生涯学習センター	吟子の夫、志方之善(1864-1905)の写真。
瀬棚淑徳婦人会の人々			1905	せたな町生涯学習センター	瀬棚村(現・北海道せたな町)の有力者の妻たちとともに結成した淑徳婦人会で、社会活動を行っていた頃の写真。
東京に戻った頃の吟子			1908	せたな町生涯学習センター	夫・之善が亡くなった3年後、同じく夫を亡くした姉・友子の願いにより東京に戻った頃の写真。
荻野吟子書状(転居開業の通知)(複製)	荻野吟子		1909.2.28	常見隆氏所蔵、熊谷市教育委員会提供	友人の田中かく子に東京・本所で開業したことを知らせる手紙。
荻野吟子書状(かく子へ膀胱炎の養生方法を教授)(複製)	荻野吟子		1913.5.8	常見隆氏所蔵、熊谷市教育委員会提供	田中かく子のために吟子が病気の養生方法を記した手紙。
『日本女医会雑誌』第一巻第一号(表紙、荻野吟子談話部分)(複製)	荻野吟子(談)	日本女医会	1913	せたな町生涯学習センター	「本邦女医の嚆矢」と題した吟子の談話が掲載されている。内容は医術開業試験の受験に関する苦心談が中心。

③生沢クノ・高橋瑞子

生沢クノ(複製)			1888年頃	深谷市	1888(明治21)年から川越(現・埼玉県川越市)に独立開業していた頃の写真。26歳の頃とされる。
医業開業免状(複製)		内務省衛生局	1887.2.19	東京女子医科大学史料室・吉岡彌生記念室	医術開業試験に合格し、日本で2番目の公許女医となったときの免状。
高橋瑞子				東京女子医科大学史料室・吉岡彌生記念室	日本橋で開業していた頃の写真。
ベルリン留学中の高橋瑞子			1890	東京女子医科大学史料室・吉岡彌生記念室	医術開業試験に合格し、日本で3番目の公許女医となった後、ベルリン大学へ留学したときの写真。

④吉岡彌生と東京女子医科大学

東京女医学校創立当時の吉岡彌生			1900	東京女子医科大学史料室・吉岡彌生記念室	至誠医院の一室に東京女医学校を創立した29歳の頃の写真。
東京女医学校正門			1906	東京女子医科大学史料室・吉岡彌生記念室	東京女医学校が1903(明治36)年に現在の東京女子医科大学の地、新宿区河田町の洋館(元陸軍獣医学校)に移転した頃の写真。
東京女子医学専門学校 図面		東京女子医科大学	1926		出典:『東京女子医科大学百年史 資料編』東京女子医科大学百年史編纂委員会編
慶應義塾大学医学部医化学研究室における戸田(とだ)邦仁(くに)			1925	東京女子医科大学史料室・吉岡彌生記念室	戸田邦仁は1890(明治23)年に上州山田郡桐生町(現・群馬県桐生市)に生まれた。1911(明治44)年に東京女医学校に入学、1916(大正5)年に医術開業試験に合格した。1925(大正14)年、東京女子医専卒業生初の助教授となった。

戸田邦仁教授の医化学講義			1935	東京女子医科大学史料室・吉岡彌生記念室	東京女子医学専門学校にて講義を行う様子。邦仁は1932(昭和7)年に助教授から教授に昇格し、1934(昭和9)年には慶應義塾大学医学部にて医学博士号を取得している。
揮毫中の吉岡彌生			1937	東京女子医科大学史料室・吉岡彌生記念室	66歳の時の写真。彌生は多くの書を残しており、卒業生から揮毫依頼を受けることも多かった。この年、女性初の内閣の教育審議会委員となっている(65人中唯一の女性委員)。
『主婦之友』1938年4月号		主婦の友社	1938	女性アーカイブセンター	「これからの夫婦ーこれからの結婚を語る」と題して行われた大森洪太・下村海南・杉山平助・諸岡存・吉岡彌生の座談会記事が掲載されている。
東京女子医科大学河田町キャンパス全景		東京女子医科大学	2010	東京女子医科大学史料室・吉岡彌生記念室	
東京女子医科大学河田町キャンパス図面		東京女子医科大学	2010		出典:『東京女子医科大学110周年記念誌』東京女子医科大学110周年記念誌編集委員会編集

⑤映画『一粒の麦～荻野吟子の生涯』

衣装・草履			2018	株式会社現代ふろだくしよん	劇中で荻野吟子(演・若村麻由美)が着用した衣装と草履。
『令義解』『學問ノススメ』(複製)			2018	株式会社日映装飾美術	劇中で使われた和装本。

⑥日本女医会

日本女医会 パンフレット		日本女医会		日本女医会	
日本女医会創立65周年記念祝賀会			1981.11.15	女性アーカイブセンター	渋谷の東急文化会館ゴールデンホールで開催された祝典の写真。「65周年」とは1914(大正3)年、日本女医会の第1回総会を起点としたもの。(全国婦人新聞社取材写真コレクションより)
日本女医会関連新聞記事			2002.5.1	☆	2002年5月1日付朝日新聞。「世界初の女性医師を本に：創立100周年の日本女医会」

⑦活躍中の医師たち

『日本女医会誌』復刊第230号「巻頭言」			2017	☆	前田氏が会長に就任(2017年3月)した後に執筆した、女医の歴史についての記事。
前田佳子氏と山田火砂子監督			2019.3.5	日本女医会	出典:日本女医会Webサイト「温故知新インタビュー」
前田佳子氏関連雑誌記事			2019.9.20	☆	『週刊金曜日』1249号 特集「医学界の女性差別」

埼玉県女性医師支援センター関連新聞記事			2009.10.4	☆	2009年10月4日付朝日新聞朝刊。「女性医師の復職後押し：子育て、県が支援センター 両立へ環境整備」
埼玉県女性医師支援センターのポスター				埼玉県女性医師支援センター	
2016年日本女医会埼玉支部総会			2016	宮坂晴子氏	日本女医会の全国大会総会が、宮坂氏が支部長を務める埼玉支部で開催されたときの写真。上田埼玉県知事、金井埼玉県医師会会長も招かれた。
診察室にて				宮坂晴子氏	診察中の宮坂氏の写真。
ペンシルベニア大学で研修中(毎朝のカンファレンス)			2010	皆川智子氏	夫の留学に伴い渡米したときの写真。
皆川智子氏関連新聞記事			2014.6.3	☆	2014年6月3日付東奥日報。「女性医師働き続けて：付属病院隣に復帰施設・業務補助 弘大、子育て支援拡充」
第1回山本纈子賞受賞時			2019.5.18	皆川智子氏	日本女医会第64回定時総会(2019.5.18)での写真
第1回山本纈子賞を受賞して			2019.9.25	☆	出典：『日本女医会誌』復刊第237号
東大医学部時代(大講堂にて)			[196-]	天野恵子氏	天野氏が東京大学医学部に在籍していた頃の写真。
第3回女性と健康に関する国際会議			2002	天野恵子氏	神戸市で開催されたWHO主催の国際会議の集合写真。
第1回性差医療・医学研究会学術集会			2004	天野恵子氏	東京都千代田区で開催された集会の写真。
「性差を考慮した医療」の定義				天野恵子氏	
東日本大震災被災地の視察(堂本暁子氏らとともに)				☆	出典：『防災力強化のためのトレーニング計画』男女共同参画と災害・復興ネットワーク[編]

(2020/4/10)